

## 農村地域のマンパワー不足を補完する外部人材の活用について

### 問題意識・課題

農村地域における、高齢化・人手不足による農業を下支えする農地・水利施設等の地域資源の共同活動や地域行事・伝統芸能などの維持・運営が困難となっていることから、地域の暮らしを守るため、地域外からの活動を行う担い手の確保が必要。

### (活動例)

- ・農地の草刈り、水利施設の管理等を行う労働力が不足
- ・広範囲にわたる獣害防止策の維持・管理労力が不足
- ・祭り・地域行事の運営を担う人材が不足

### これまでの府内の取組

別添のとおり

## 府内の農村ボランティア確保の仕組み

京都府施策	さとボラ (都市農村交流)		ふるさと共援等 (域学連携)	援農隊 (ピーク時の農作業応援)	モデルファーム (耕作放棄地対策)
主体	行政	農村地域	農村応援者	行政	行政・農業団体・農地活用者
事務局・窓口	府	自治会、地域連携組織等	大学、大学連携機構等 企業、企業連携NPO等	(農家募集)府 (ボランティア募集)委託業者	(地域募集)京都府農業会議 (ボランティア募集)農地活用者
目的	ボランティア組織を立ち上げることを目標に、継続的な活動のきっかけづくりを行うボランティア活動	集落機能が低下しつつある地域において、地域外の人と交流・協力して、農村の魅力や地域の活力を高める活動	大学と地域が協働して地域課題を解決する活動	繁忙期に必要な人材の確保が困難となる農村地域において、農業者と農業に興味がある人をマッチングする活動	地域だけでの活用が困難な耕作放棄地について、府民全体で協働して再生・活用を図る活動
内容	地域を対象にした水路などの農業用共同施設の維持保全活動など	地域を対象にした水路などの農業用共同施設の維持保全活動など	地域を対象にした水路などの農業用共同施設の維持保全活動など	個人を対象にした農作業応援、災害復旧応援 など	地域を対象にした耕作放棄地対策等農地の保全活動
募集規模、対象	中規模(20名程度/回)  個人、グループ	中規模(20名程度/回)  個人	中規模(20名程度/回)  大学	事前登録は大規模(無制限) 派遣は小規模(1~5名程度)  個人	中規模(20名程度/回)  企業
役割分担	企画・運営:府が地域と協働 集落募集:府 ボランティア募集:府 ネットワーク化:府が地域や参加者と協働して試行	企画・運営:地域 集落募集:一 ボランティア募集:地域 ネットワーク化:地域が参加者と協働して実践	企画・運営:大学等が地域と協働 集落募集:大学等 ボランティア募集:一 ネットワーク化:大学等が地域と協働して実践	企画・運営:府 農家募集:府 ボランティア募集:委託業者 ネットワーク化:該当なし	企画・運営:5者協働 集落募集:農業団体 ボランティア募集:農地活用者 ネットワーク化:5者協働
実施事例	京丹後市宇川地区 舞鶴市上佐波賀地区 南丹市平屋地区 など	福知山市夜久野地区 綾部市水源の里地区 など	京丹後市甲坂地区(龍大) 福知山市大原地区(福知山大) 南丹市美山地区(佛大) など	福知山市内の大雪被災農家 京丹波町内の黒大豆農家 和束町内の茶農家 など	福知山市毛原地区 京丹波町北久保地区 京都市小塩地区 他7地区
特徴	お試し的位置づけ	地域主体の取組	大学の現地実習が発展	臨時的な位置づけ	企業、地域、市町村、京都府農業会議、府が協定を締結

### 目指す方向

- ・地域に固定ファンができること
- ・地域とボランティアの間で信頼関係が築けること
- ・一過性で終わらず継続した取組ができること
- ・取組内容を様々な形で発信し、経験やノウハウが全ての世代で共有されることで、地域に主体性と共通認識が生まれること
- ・祭りやイベントの企画運営に若手や女性が積極的に参画できること